

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 睦会	代表者	理事長 中沢 允	法人・ 事業所 の特徴	運営法人（昭和 52 年設立）は長野市と須坂市で高齢者中心の総合福祉事業を展開している。当事業所は「ゆっくり・のんびり・ほのぼのと」運営方針のもと、「利用者一人ひとりがその人らしく過ごせること」「身体機能の維持」「家族の介護負担の軽減」を目指している。
事業所名	むつみ家ほのぼの	管理者	青木 貴宏		

出席者	市町村職員	知見を有する もの	地域住民・地域 団体	利用者	利用者家族	地域包括支援セ ンター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	2人	1人	人	2人	3人	12人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・事業所自己評価の「次回までの具体的な改善計画」を確実に実施していく。	・ヒヤリハットや記録については、気づきが増え、情報の共有ができてきている。 ・研修の参加や担当利用者の身の回りの気づき、地域資源の調査などは、職員の意識に差がある。	・運営推進会議の中でも、事故やヒヤリハットに関する報告が細かく行われており、改善につながっていると感じる。 ・新しいヒヤリハット様式の導入後、どの程度、事故の発生を抑制できたか検証してほしい。 ・研修への参加意識が高まってきているのが良いと思う。	・事業所自己評価の「次回までの具体的な改善計画」を確実に実施していく。
B. 事業所の しつらえ・環境	・環境整備については、継続して行う。設備、備品の劣化しているものもあるので安全のため、必要に応じて入れ替えを検討していく。	・設備や備品の修繕、取替えを実施したが、できていない物もある。	・民家改修の建物だが、よく工夫して使用している。 ・施設の老朽化等、将来展望も見据えて、計画的な修繕プランが必要。優先順位を決めて必要なものは着実に実施してほしい。	・改修、修繕箇所をまとめ、利用者のサービス提供に負担をかけないように計画的に実行していく。 (例：入浴のない時間帯に浴室、脱衣室の修繕作業に入る等)
C. 事業所と地域の かかわり	・事業所主催の行事では、挨拶や御礼と共に事業概要を説明していく。また、広告を作成し地域活動の際に配布する。 ・地域に出向く担当を 1 名入れ替え、新たに関係を築いていく。	・8 月に事業概要を記した広告を作成。1/12 北村常会にて配布を行った。 ・地域行事に新たに 1 名職員が参加。市民運動会は中止になってしまったが、球技大会、常会に参加し、関係を築き始めている。	・意欲的に地域に出向く担当を変え、地域の施設として努力している様子が伺える。 ・事業所主催の行事は回覧等で周知されている。地域主催でも職員が参加し、活動している。この活動が何かあった際に役立つと思う。	・昨年の担当を引き続き継続し、より良い関係を築いていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・引き続き、その時の状態に合わせ、必要な事業所内外のサービスを提案し、本人の希望やキーパーソンの意向に沿った支援をしていく。 ・利用者の各担当職員が、その人の地域資源についてまとめる。	・食生活に不安がある方は配食サービスを提案し、自宅で転倒し移動が困難な方には痛みが軽減するまで連泊したりと本人、家族と相談しながら様々な支援をしている。 ・近隣の協力者や他の資源について、必要性の高い利用者は概ね把握できているが、全てではない。	・事業所、家族との相談により、より良い支援につながっていると思う。 ・地域資源について、一定の情報であれば地域包括でも情報を収集しているので活用を検討してほしい。	・利用者の各担当職員が、その人の全てを把握できるよう、「地域資源」とは何かを学習し、必要になるサービスを一覧化する。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・改善結果に対する取組みや経過など、その都度会議で報告し、意見交換をしながら取り組んでいく。</p>	<p>・事業報告にて寄せられた提案や意見について、改善した取組みや内容を次の会議で報告し、意見を活かした取組みができています。</p>	<p>・提案や意見を踏まえた改善点の報告等の取組みは出来ているが、改善に至ったプロセスについて具体的な説明がほしい。 ・充実した会議だと思うが、参加者の意見が出るような工夫が必要。 ・各部門の責任者の集まりを利用し、地域として出来る事は協力したい。特に利用者の安全面では地域としての責任があると思う。</p>	<p>・改善結果に対する取組みや経過など、その都度会議で報告し、意見交換をしながら取り組んでいく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・安全の確保については、特に独居や老々介護の利用者はご家族や成年後見人と相談し、災害の恐れのある時は速やかに連携がとれるよう取り決めをする。</p>	<p>・11月開催の運営推進会議にて、台風19号での対応を元に風水害のマニュアルを完成させた。</p>	<p>・台風19号の対応から風水害マニュアルを完成させた点は評価できる。今後は他のマニュアルも含め、随時内容の見直しを行い、習熟を図ってほしい。 ・マニュアルについて、避難の判断がしやすい内容になっていると思う。今後は訓練、実行に努めてほしい。 ・更なる準備、体制を整えてほしい。</p>	<p>・風水害のマニュアルを元に訓練を実施し、不足事項の追加や見直し、検証を行う。</p>